

10年経験者研修を契機とする 「総合的な学習の時間」の指導計画の捉え直し

池田町立温知小学校 平井由子*
学校教育専修 原田信之

I はじめに

温知小学校では、本年度から総合的な学習の時間に重点を置いた研究が始まった。私も、研究を推進していく立場になったものの、知識不足で、研究を推進するどころか指導するにも不十分な状態にあると感じられていた。12年目研修は、ちょうどそのような課題意識が高まっていた頃に得られた機会であった。研修内容を少しでも教育現場で生かせたらとの思いから、原田先生の「総合的な学習の時間の新たな展開」をテーマとした岐阜大学プログラムを選択することにした。

12年目研修で学んだ、特に「総合的な学習の時間と教科との関わり」と、「つけたい資質・能力の明確化」について、ここから本校でも総合的な学習の時間の指導計画を改善していけないかと考えた。まだまだ課題は多く改善の途上ではあるものの、この機会を生かしていくために、研修をきっかけに総合的な学習の時間について捉え直したことなどを中心にまとめてみたい。

II 温知小学校における総合的な学習の時間の捉え方

1 研究テーマについて

体験活動は、調和的にバランスよく子どもを育む、徳育・知育・体育の源である。体験活動を行うことによって、生きることや働くことの尊さを実感する機会も持たせることができる。こうした観点に立った時に、昨年度までの反省から、基礎的・基本的な力を活用させつつ、自ら考え行動する力を見童につけることが「生きる力」を身に付けさせることにつながると考えた。

そこで、温知小学校では、平成18年度から総合的な学習の時間と生活科の研究を再スタートさせ、研究テーマを「学ぶ喜びを求めて～体験活動を核として～」と定め、体験活動重視の実践を心がけている。発達段階に応じた自然体験や社会体験、職場体験や文化体験等にカリキュラム・マネジメントの手法（P・D・C・A）を取り入れることで、学習や生活の基盤づくりを進めていく教育課程の在り方を探求している。

2 児童の実態から見えてきた課題

温知小学校の児童は、自分なりの課題をもち、願いや考えにしたがって調べ体験することには意欲的に取り組み、それを自分なりの方法で表現することはそれなりにできる一方、仲間と交流することで自分の考えを深めたり、自信を持って堂々と人前で自己の考えを表明する力の面がやや弱い。

* 平成18年度12年目研修教員

そこで、まず授業での学習活動に体験や調べる活動を多く取り入れること、その活動後には必ず仲間と交流する場を設けること、そしてその場を仲間のよさを認め、自己表現力を高めることに生かす機会にすることを教師側の課題として考えた。その中で、たとえば自己表現をする場にしても、その時の状況に応じて、既存のグループの仲間同士だけでなく、課題別に編成された集団で交流することで、意見の深まりを期待するとともに、自分の考えに自信が持てるような交流の場を設定するようにした。

3 指導計画の見直しについて

温知小学校では、総合的な学習の時間に関して、児童の実態に基づいて、①年間指導計画、②他教科との関連表、③単元指導計画、④本時案、⑤身につけたい資質や能力表の5つを作成している。12年目研修で原田先生に直接ご指導をして頂き、現在見直し中のものもある。

(1) 総合的な学習の時間の年間指導計画（「おんちプラン A」資料1参照）

「おんちプラン A」では、体験活動を通して「学び」が連続するように工夫したカリキュラムが構想され、各学年の内容と年間の学習内容が一覧表にまとめられている。この年間指導計画は、次学年への展開を見通した上で、生活科及び総合的な学習の時間の学習を進めていくためのものである。

(2) 各学年の年間指導計画と他教科との関連表（「おんちプラン B」資料2参照）

体験をして終わりではなく、総合的な学習の時間で身に付けた力を他教科でも生かせることや、他教科で身につけた力を総合的な学習の時間で活用することが、生きる力につながることを12年目研修で学んだ。

他教科とのつながりを明確にした「おんちプラン B」が作成されていることによって、教師側も普段の授業から意識して諸教科横断的・関連的指導をすることができる。

現在は、総合的な学習の時間で学ぶ内容と各教科等の単元との関連が示されているだけで、「どの単元のどこでどんな力を付けるのか」が明確になっていない。この点が、今後、「おんちプラン B」を充実させていく時の課題になる。その場合に、この育成する力の観点から教科ごとに細かく見直し、方法力・社会力・自分力などに分けて、関連を考えていく必要がある。

(3) 単元指導計画（「おんちプラン C」資料3参照）

総合的な学習の時間では、調べ学習のように同じ形態の体験が繰り返されるケースがある。一つの単元を、児童の意識の流れに合わせて、「ふれる活動」「見通す活動」「調べる活動・実践する活動」「まとめる活動」の4つの局面に分けて段階構想を立てたものが「おんちプラン C」と呼ばれる単元指導計画である。子どもの活動に即して記述することで、子ども主体の学習ができるように構想されている。また、各活動の局面で関連する他教科等の単元名も記されているのが特徴である。

(4) 「育てたい資質や能力」表（資料4参照）

どの時間にどんな力を付けたいのか、それが一目で分かるように一覧表にまとめたものが「育てたい資質や能力」表である。これは、授業過程を「ふれる活動」「見通す活動」「調べる・実践する活動」「まとめる活動」の4つに分け、活動の各局面でどのような力を身につけさせることができるのかを示したものである。

ここでは、「学習への関心・意欲・態度」「総合的な思考・判断」「学習活動に関わる技能・表現」「知識を応用し総合する能力」の4つの観点から、それぞれの局面で育てたい資質や能力が明確になるようにしたことで、毎時間の指導や評価に生かすことができるようになった。

育てたい資質や能力の内容については、それぞれの具体化された力がそれにふさわしいカテゴリーに的確に収められているかどうかの視点からもう一度きちんと整理し直す必要があることを、12年目研修で教えて頂いた。現在、このアドバイスにしたがって実践しながら2学期以降の単元について、見直しを進めているところである。

4 各学年の総合的な学習の時間の内容

一学年に一つの大きなテーマを設定し、それを年間2～3の単元で展開するように構想されている。3年生のテーマ「わたしたちのふるさと池田町」では、総合的な学習の時間の学び方のイロハから定着するように働きかける。身近なものから学ばせていく意図から、自分の住んでいる地域に目を向けるようにしていく。

4年生のテーマ「わたしたちと福祉」では、特別支援学級や難聴特殊学級との交流を積極的に図っていくことや、障害についての調べ学習をしている。5年生のテーマ「わたしたちと水」では、4年生までの社会科の学習を生かして、池田町を流れる杭瀬川を対象にした環境問題の探求がおこなわれる。

6年生のテーマ「つながれ世界～みんな友達～」は、国際交流をテーマとしている。このように同心円拡大的に、学年が上がるごとに少しずつ視野が広がるように学習内容が設定されている。

(1) 3年生「わたしたちのふるさと池田町」(全94時間)

3年生の学習では、当たり前のように存在している身近な出来事や対象に疑問を持つようにし、そこから興味関心を沸き立たせるようにしている。社会科の副読本「わたしたちのふるさと池田町」を活用しつつ、年間を通して池田町について学ぶ。

池田町は、「お茶」の産地でもあり、「ききょう太鼓」などの文化を有する。社会科での学びを延長させて、町の公共施設の役割について更に調べたい子どもでてる。

2学期からは、総合での学び方のイロハとなる「自己探究学習」の基礎を育てるため、自分でテーマを決め、体験し、深く調べ、まとめる主体的活動が取り入れられていく。3年生では、このように総合的な学習の時間における学び方の基礎を身に付けさせ、次学年以後にそれが生きていくようにする。

なお、「たんけんしよう わたしたちのふるさと池田町パート1」(30時間)、「同パート2」(42時間)、「ふるさと発表会をしよう」(22時間)の3つの単元でカリキュラムが構想されている。

(2) 4年生「わたしたちと福祉」(全90時間)

温知小学校には、特別支援学級に加え、揖斐郡内に一つしかない難聴特殊学級がある。学校の特色を生かし、そうした児童との交流を通して障害や福祉への理解を積極的に図っていくことが、年間テーマのねらいである。

1学期には「お年寄り福祉」(35時間)、2学期には「障害者と福祉」(35時間)、3学期には「やさしさあふれる町づくり」(20時間)について学んでいく。特別養護老人ホームや授産所といった福祉施設の見学とともに、車椅子、手話や点字などの体験活動を大切にしている。これらの活

動をしながら、本校の特別支援学級や難聴特殊学級の児童との交流を深め、どんな人でもよりよく生きることができるように、共にふれあいながら福祉施設や制度の側面についても学ぶことで、「福祉」について多角的かつ総合的に考えることができるようにしている。

(3) 5年生「わたしたちと水」(全85時間)

4年生の社会科でゴミや水について学習したことを、学校の近くに流れている身近な「杭瀬川」という現実の川の実情に当てはめて調べることで、環境についてリアルな興味や実感がもてるようにしている。

「杭瀬川を知ろう」の単元(45時間)では、まず、各家庭の責任領域に属する家庭排水、それを処理する浄化槽について学ぶ。その後杭瀬川へ実際に足を運び、水質やゴミ、生き物などを調べていく。ここでは、家庭(汚水を排出する自分たち)と川とがつながっている意識をもたせるところがポイントになる。

「わたしたちにできることは」の単元(40時間)では、地域の人にインタビューをしたり、他校から意見を聞く活動も入れ、川をきれいにするプランを練り上げながら環境についての考えを深めていく。プランを町行政に提案することも組み入れられている。

(4) 6年生「つながれ世界～みんな友だち～」(全83時間)

「中国とわたし」(22時間)の単元では、中国について調べた後、交流会が開催される。そこで学んだことを生かし、2学期からは他の国々へも目を向け、その中から興味をもった国を一つ選び、調べていく。これが「世界とわたし」(35時間)の単元である。広い国際的な視野を持って物事を考えられるような子を育成することが、この年間テーマのねらいである。この視野から「わたしにできること」(26時間)の単元が、総合的な学習の時間の締め括りとして設定されている。詳しくは、以下に述べる。

Ⅲ 第6学年の総合的な学習の時間の見直しについて

私は6年生担任ということもあり、この学年の指導計画の見直しを中心に行ってきた。その内容を紹介していくことにする。

1 6年生の年間指導計画の工夫した点

中国は、昔から日本と非常にかかわりが深い国である。社会科学習でも多くの知識が提供されている。児童にとっても中国について知っていることは多く、ほとんど初めて外国について学ぶ6年生にとって、きっかけが得られやすい国である。また、同じ国を課題別に分かれて調べることによって、学び方をみんなが理解し、同じ課題の子と相談しながら、自信をもって活動をすることができる。そこで、1学期は、中国について、様々な視点から課題別に調べるようにした。

2学期には、「世界とわたし」の単元で、世界から興味をもった国を一つ選び、課題を見つけ調べていくようにする。世界にはたくさんの国があるので、個人で課題をもち、調べることにした。各自が調べた国を交流することによって、より多くの国のことを知ることができる良さがある。

3学期には、今までの学習のまとめを行う。「わたしにできること」の単元で、外国の方との交流や自分の調べたことの発信を行い、外国を調べたことで日本を改めて見つめ直すことができると考える。ここに国際交流の意義があると思う。

学期ごとに一単元を行い、学びが連続するように児童の思考の流れに沿った指導計画を作成した。

2 「中国とわたし」の単元指導計画の改善について

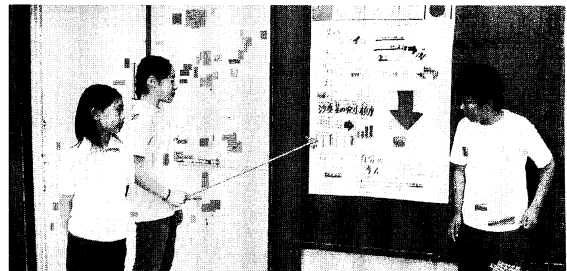
色々な国の外国人の方と積極的にふれあう体験を多く取り入れていきたいが、なかなか難しい実態がある。そこで、導入の「ふれる活動」の時には、他教科との関連を意識して行っていくようにした。社会科の「米作りのむらから古墳のくにへ」で、中国から色々な文化が伝わってきたことを学んだ。この学習を生かした導入ができるようにした。

「調べる活動・実践する活動」では、色々な方法で課題について調べる時、資料が少なく困る児童がいた。色々な資料を見たり、調べたいりする中で課題を変更したくなる児童も出てきた。

本単元では、一度自分の課題について調べてみて、難しかったり、他にもっと調べたい課題を見つけたりした時には、課題の変更の時間を作り、十分に調べられるようにした。

また、国語の「ガイドブックをつくろう」の単元で資料の調べ方やまとめ方などを学んだ知識を生かして、交流会の準備へと発展させていくようにした。調べたことを発表する時は、まず学級で行い、次に学級の枠をはずして学年全体でも行い子どもの学習を促すようにした。

「まとめる活動」では、実際に中国の方と交流する場を設定した。一緒に餃子作りを行うことによって、話しかけるきっかけを見つけることができ、交流がしやすいと考えられる。また、次の単元「世界とわたし」で、世界に目を向けさせるため、ALTの先生とも交流を位置付けた。



3 「餃子交流会をしよう」の授業について

「中国とわたし」のまとめる活動の最後の場面である。本時までには、児童は中国について課題別にまとめ、交流会も学級、学年で行ってきた。

餃子交流会の計画、準備を学年で行い、当日を迎えた。池田町在住の麗麗さんに餃子の作り方を教えていただきながら、実際に作って食べた。教えていただいたのは、中国の水餃子の作り方で、日本の餃子と違い、中に「にんじん」を入れたり、「しょうゆ」や「油」で具に下味をつけたりする。たいへん手早く餃子を作る麗麗さんの姿を見て、驚いていた。そして、皮の生地のおね方や具の材料について教えて頂く中で、児童と麗麗さんとの会話がだんだん増えていった。また、麗麗さんに尋ねたいことをインタビューさせて頂くこともできた。

食後には、餃子交流会の感想を発表しあった。日本と中国の餃子を比較しながら、餃子づくりを通して「国が違うと仲良くなれないのか」という内容について話し合った。

課題
餃子交流会で 中国のことを
もっと くわしく 知ろう

おにがに 理解 し合えば 仲良くなれる
甲国でも日本にも良い人はたくさんいる。
言葉や文化はちがってでも心は一緒、なので
相手のことを知れば伝えたいと思うことは伝わって
相手のことを理解しあえば、
その先生も他の先生に聞いたことを
あぶり手あぶり手伝えようとしたし、他の先生も
その先生の言いたいのことを一生懸命分かって
している。

一生懸命にやれば言葉は通じなくても
あきらめずにチャレンジすれば言葉や文化は相手に
伝わる

< 振り返り >

リーさんに通じて話しかけました。 伝えることができましたか。	日本と中国のぎょうずの作り方を 伝えることができましたか。	グループのまとまりがよくなりました。 伝えることができましたか。	一生懸命にやれば言葉は通じなくても あきらめずにチャレンジすれば言葉や文化は相手に 伝わる
-----------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------	---

< 今日の実践 >
今日の活動でわかったこと、できたこと、考えたこと、新しい疑問などを書く。

日本のぎょうずと中国のぎょうずの作り方のちがいをわかって見つけた。リーさんの話から一生懸命にやれば言葉は通じなくてもあきらめずにチャレンジすれば言葉や文化は相手に伝わる

児童から意見が出たところで、麗麗さんから話を聞いた。結婚して日本に来た時は、言葉がなかなか通じず苦労したこと、自分の子どもは「国際人」であるということ、日本に来て助けてくれた人がいてうれしかったことなど詳しく教えていただいた。麗麗さんの話の中で「国は違っても、努力して心が通じ合えば仲良くなれる。」という言葉が、とても印象的だった。

続いて、ハワイ出身のALTのキャロル先生から話を聞いた。日本をより理解するために、日本語を一生懸命話している姿勢や、日本文化を理解するために剣舞を習っていることを教えて頂いた。異文化理解のための努力について初めて知り、「私も英語をがんばって勉強したい」などの感想をもつことができた。中国だけでなく、違う国に目を向けさせるよいきっかけとなった。

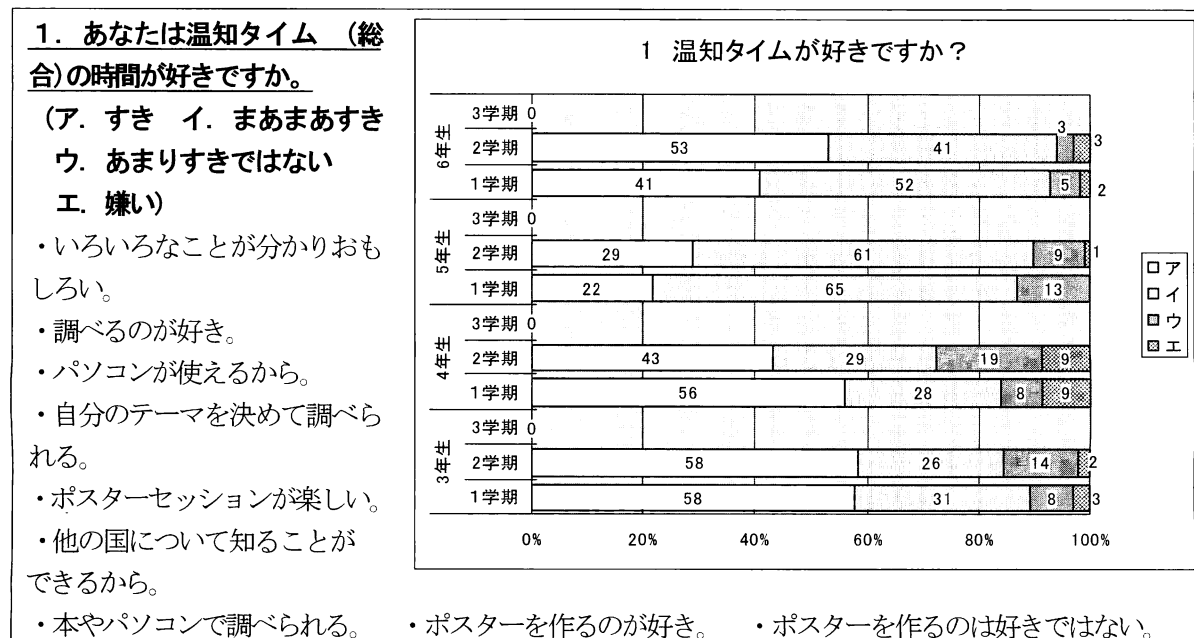
これらのことから、中国のことについて詳しく調べ、まとめ、体験する（餃子交流会）ことによって、自ら学び、考えることができたと思う。これは、12年目研修で学んだ「生きる力」にもつながってくる。やはり、体験から学ぶことで、児童にとって得るものが多いと実感した。



4 児童の授業評価より

児童の意見を進んで取り入れるために毎学期の終わりにアンケートをして、そしてそれを授業改善に役立てるために児童の変容からチェックしていくことの大切さについて原田先生から教えて頂いた。そこで1・2学期のアンケートを集計し、分析した。

以下の資料は、2学期までのアンケートの集計結果である。6年生に焦点を当て、温知小学校のP・D・C・Aの「C」の検討を行うことにする。



多くの子が温知タイム(総合的な学習の時間)のことが好きである。6年生では、問1のように、2学期に「好き」「まあまあ好き」と答える児童が増えている。その理由として考えられることは、2学期は自分でテーマを決めて取り組めること。また、1学期に「中国とわたし」を学習し、学び方が分かり、安心して学習を進められたことが考えられる。

2. 時間ごとの学習の課題

はよくわかりましたか。

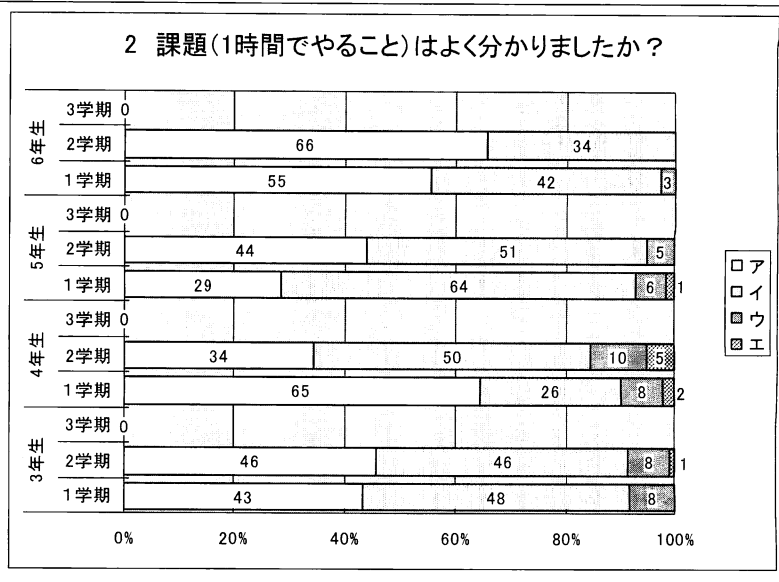
(ア. よくわかった

イ. だいたいわかった

ウ. あまりわからなかった

エ. わからなかった)

- ・他の子の発表を聞くとよく分かる。
- ・たまに分らないときがある。
- ・きちんと先生が説明してくれた。
- ・課題が分かりやすい。
- ・前の時間からやることが分かっていた。



問2でも、「あまりわからなかった」「分からなかった」と答えている児童は、2学期には0になっている。その理由として、各自の課題が具体的なもので分かりやすかったと考える。また、学習プリントには、必ず「次の時間にやること」と「準備すること」の欄を設けておき、見通しをもって学習が進められるようにしているので、その一時間にやる内容がよく分かっていたのもよかったのであろう。

3. 温知タイムの時、調べたりまとめたり考えたりする時間は十分ありましたか。

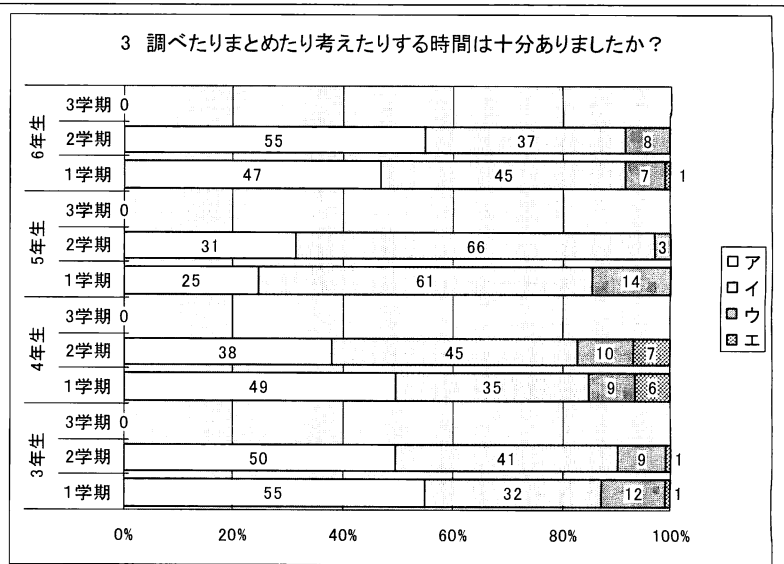
りまとめたり考えたりする時間は十分ありましたか。

(ア. 十分あった

イ. だいたいあった

ウ. あまりなかった

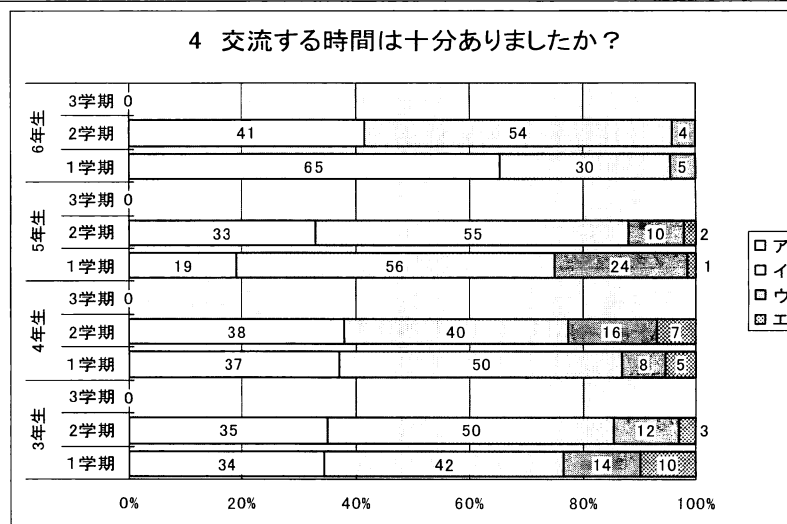
エ. なかった)



問3によると、1学期、2学期ともあまり変わりはない。調べたりまとめたりする時間には個人差があり、教師が十分時間を取っているつもりでも、児童にとってはなかなか不十分なこともある。児童の学習の進み具合を確認しながら行っていったり、単元指導計画を更に工夫改善したりする必要がある。

4. 温知タイムの時、みんなで調べたりまとめたりしたことを交流する時間は十分ありましたか。

- (ア. 十分あった
イ. だいたいあった
ウ. あまりなかった
エ. なかった)

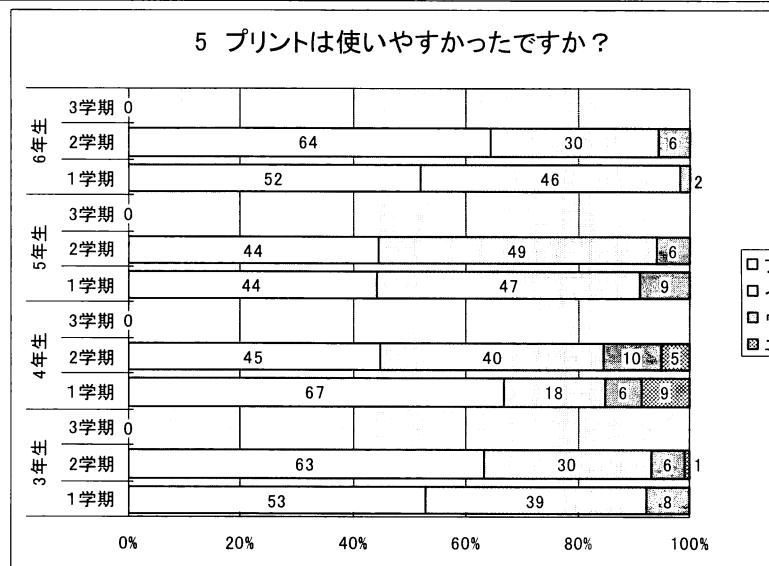


問4では、交流する時間は、1学期の方が十分に取れていたもので、このような結果になった。1学期は課題別グループで発表したもので、グループが少なかったが、2学期は個人で調べたため、交流する時間はどうしても不足しがちだった。研修でも、「仲間との対話的交流」の重要性について学んだので、課題別グループがよいのか、個人がよいのか、再度検討する必要がある。

5. 温知タイムに使ったプリントなどは、分かりやすく使いやすいものでしたか。

- (ア. 使いやすかった
イ. まあまあ使いやすかった
ウ. あまり使いやすくなかった
エ. 使いにくかった)

- ・書くところが多くてよかった。
- ・まとめの場所を作ってほしい。
- ・考えを書くスペースが広がったから使いやすい。
- ・プリントに線を引いて文字を書きやすくしてほしい。



問5では、評価の観点を入れた1枚ノートを毎時間作成したので、2学期は使うのに慣れたので「使いやすかった」が増えたと考えられる。しかし、ノートの罫線を、図などを書きやすくするためにあえてなくしていたが、文章をたくさん書く児童にとっては、使いにくいものになってしまった。罫線があるものとないものの2種類の用紙を準備しておいた方がよい。

問6では、6年生については、前向きな意見が多かった。ただ、「色々な国の人と交流したい」という意見もある。交流活動がなかなか難しいが、積極的に指導計画に入れていくと、更に児童の意欲が増すだろう。また、調べることの難しさを感じる児童もいるので、教師が事前に資料を準備しておいたり、どこを調べるとよいのかつかんでおいたりして、指導に生かしていきたい。

6. 2学期間温知タイムで、体験活動を通して分かったことや学んだことなどを書きましょう。

- ・いろいろな国の人と交流したい。
- ・資料を調べるのが難しかった。
- ・世界の行事と日本を比べることができた。
- ・資料が少なく調べにくかった。
- ・韓国のキムチは日本より材料が多いことが分かった。
- ・ブラジルのコーヒー生産がとても盛んなことが分かった。
- ・他の国のことを知ることができてよかった。
- ・パソコンより本のほうが調べやすかった。
- ・まとめたり自分の考えを書いたりすることが難しい。 など

IV おわりに

普段は忙しくて、指導計画の改善や日々の授業の見直しをなかなか行うことができない。しかし、今回の研修によって、総合的な学習の時間を見直すきっかけができ、本当に自分の身になったと思う。成果と課題をまとめてみると、次の通りである。

<成果>

- 研修によって、学校の指導計画の見直しや改善を進めることができた。
- 総合的な学習の時間と他教科との関連について、積極的に授業の中に取り入れることができた。
- 指導に役立てるよう、アンケートの結果を分析することができた。

<課題>

- △ 他教科との関連について、どの時間にどんな力を付けたいのか更に詳しく洗い出す必要がある。
- △ 育てたい資質や能力について、カテゴリー別にきちんと整理し直す必要がある。
- △ 個人で見直しを行うのではなく、学校全体に広めていかななくてはならない。

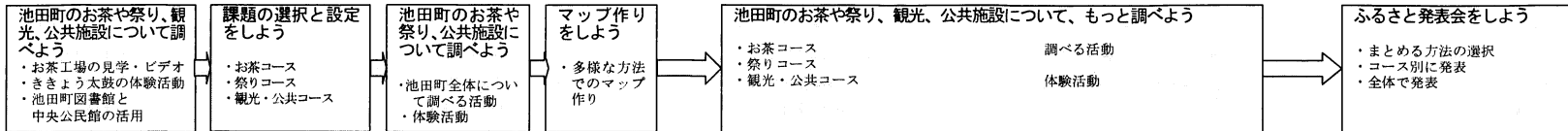
今回研修でたくさんのことが学べた。今後は、私がその学んだことをどのように生かしていくかが一番大切である。自ら課題を見つけ、自ら学び自ら考える力を児童につけさせるために、今後も切磋琢磨していきたい。

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

わたしたちのふるさと池田町 (94)

たんけんしよう わたしたちのふるさと池田町パート1 (30)

たんけんしよう わたしたちのふるさと池田町パート2 2学期(42) 3学期(22)

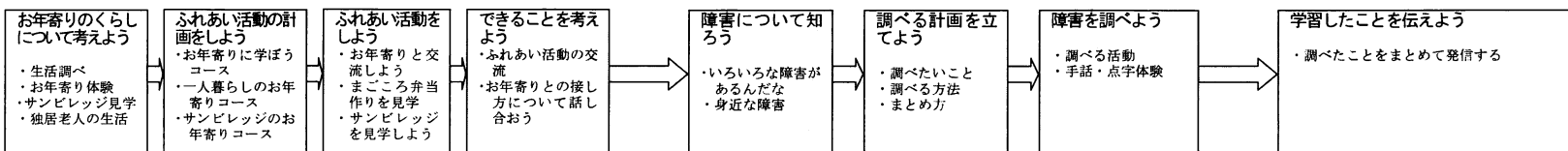


わたしたちと福祉 (90)

お年寄りと福祉 (35)

障害者と福祉 (35)

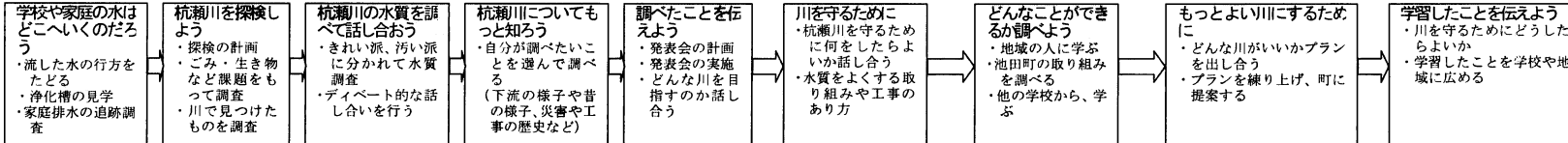
やさしさあふれる町づくり (20)



わたしたちと水 (85)

杭瀬川を知ろう (45)

わたしにできることは (40)

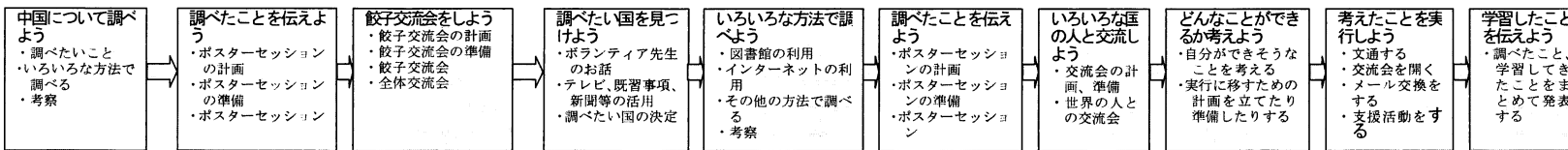


つながれ世界～みんな友だち～ (83)

中国とわたし (22)

世界とわたし (35)

わたしにできること (26)



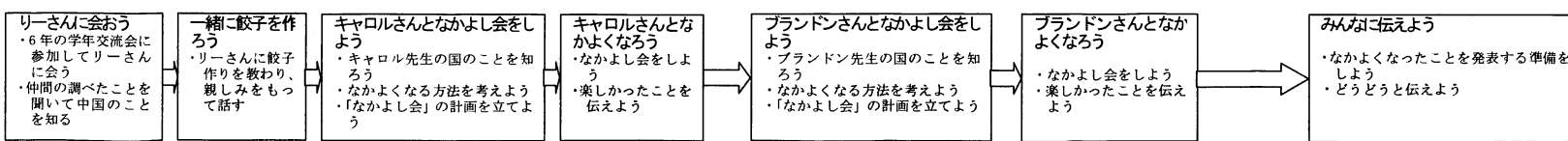
ひろげようなかよし (94)

リーさんとなかよし (15)

キャロルさんとなかよし (25)

ブランドンさんとなかよし (25)

発表しよう (33)



各学年交流会

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	つなぐれ世界～みんな友だち～ (83)												
	中国とわたし (22)				世界とわたし (35)				わたしにできること (26)				学習したことを発信する 他学年へ
総合的な学習の時間	中国について調べよう ・調べたいこと ・いろいろな方法で調べる ・考察	調べたことを伝えよう ・ポスターセッションの計画 ・ポスターセッションの準備 ・ポスターセッション	餃子交流会をしよう ・餃子交流会の計画 ・準備 ・餃子交流会 ・全体交流会	調べたい国を見つけよう ・ボランティア先生のお話 ・テレビ、既習事項、新聞等の活用 ・調べたい国の決定	いろいろな方法で調べよう ・図書館の利用 ・インターネット ・その他の調べ方で調べる。 ・まとめ方	調べたことを伝えよう ・ポスターセッションの計画 ・ポスターセッションの準備 ・ポスターセッション	いろいろな国の人と交流しよう ・交流会の計画・準備 ・世界の人との交流会 ・学年交流会	どんなことができるか考える ・自分にできることを考える ・行い方 ・計画・準備	考えたことを、実行してみよう ・文通 ・交流会開催 ・メール交換 ・支援活動	学習したことを伝えよう ・調べたことと、学習してきたことを、まとめて、発表する。			
国語	○本に親しみ自分と対話しよう ・カレーライス ・漢字の形と音、意味	○自分の考えを持とう ・生き物はつながりの中に ・言葉のひびきを味わおう ・短歌、俳句の世界 ・くらしの中の言葉	○相手や目的に合わせて書こう ・アイデアワークを ・作る	○相手の話を聞き取り ・自分の主張を伝えよう ・学級討論会をしよう	○話の世界を ・探そう ・森へ ・本は友達	○詩を味わおう ・船、リラ ・共に生きるために考えよう ・みんなで生きる町 ・多くの人が使えるように ・日本で使う文字	○表現を味わい ・豊かに表現しよう ・やまなし ・イーハメグの巻 ・熟語の成り立ち	○筆者の考えを受け止め ・自分の考えを伝えよう ・平和のとおりで書く ・自分の考えを発信しよう	○聞く人の心に届くよう表現しよう ・わたしは、ぼくは ・表現の仕方を工夫しよう ・感動を言葉に	○言葉っておもしろいな ・わたしたちの言葉 ・言葉の備 ・カンジ博士のクイズ大会	○学習したことを生かして ・海の今、君たちに伝えたいこと ・生きる		
社会	○わたしたちの地域 ○米づくりのむらから古墳のくにへ	○聖武天皇と奈良の大仏	○源頼朝と武士の世の中	○3人の武将と全国統一	○徳川家光と江戸幕府	○江戸の文化をつくりあげ ・人々	○明治維新をつくり上げた ・人々	○世界に ・だんだん日本 ・戦争と人々のくらし	○新しい日本 ・平和な日本へ	○私たちの生活と政治	○世界の中の日本		
算数	○数や図形の見方 ○分数のたし算とひき算	○直方体と立方体	○体積	○平均	○単位量当たりの大きさ	○分数と整数のかけ算、わり算	○角柱と円柱	○分数のかけ算、わり算	○比	○比例	○6年のまとめ ○わくわく算数 ○テーマパーク		
理科	○地球と生き物のくらし ○ものの燃え方と空気	○動物のからだのはたらき	○植物のからだのはたらき	○わたしの研究	○生き物のくらしとかんきょう	○大地のつくりと変化	○水溶液の性質とはたらき	○電流の ○人とかんきょう					
音楽	○ふしの重なり合いを味わおう ・つばさをください ・思い出のメロディー ・おぼろ月夜 ・ラバースコンチェルト	○世界の音楽に親しもう ・世界の国々の音楽 ・アンデスの祭り ・こげよマイケル ・われは海の子	○いろいろなひびきを ・味わおう ・星空はいつも ・風を切って	○重なり合う音の ・美しさを味わおう ・勇気ひとつを友として ・赤とんぼ、箱根八里	○曲想を感じ取る ・木星 ・春の世界、一日一歩の未来 ・あるさと、広い空の下で	○日本の音楽を ・味わおう ・春の海 ・感天樂今様	○心をこめて演奏しよう ・メヌエット ・さよなら友よ ・さよなら ・さよなら						
図工	○地球アート ○くねくねアート	○ユラユラクルクル ○色を選んで	○きょうかしよ ○びじゅつかん	○のぼしてまるめて くっつけて ○わたしの町	○ワクワクカーニバル	○心広がる場面	○生まれ変わった 板たち ○夢を集めて						
家庭	○わたしにもできるよ ・生活を計画的に	・クッキングできるよ	・衣服を気持ちよく	・夏休みはまかせて	○わたしにもまかせて ・ソーイングで生活を豊かに	・クリーン大作戦	○家族にありがとう ・わたしが作る家族の日						
体育	○体ほぐしの運動 ○短距離走、リレー	○ソフトボール ○鉄棒運動	○平泳ぎ・クロール	○表現 ・温知ソーラン	○走り高跳び	○バスケットボール ○跳び箱運動	○体力を高める運動 ○ハードル走 ○サッカー						
道徳	・待合室で出会った少女 ・共に生きるために ・おばあちゃんの心	・冬バールで学んだこと ・心のししゅう ・雨	・おみじー東山魁夷 ・「あたりまえ」をやぶるかぎ ・白川英樹 ・夢の鉄道をえがいて ・米百俵 ・ふくらんだりゅっサック	・伊能忠敬 ・ぼくの仕事は ・便所掃除	・この手に命をかけて ・一國魂なき医師団 ・海の勇者 ・大王と風車小屋の主人	・頂上へすぐそこに ・レジにて ・絵画の思い出 ・地震で学んだこと	・目がえれぬよ ・一えりも輝に ・見送られた二十歳 ・一松井秀彦 ・トロナのかげやき、アンパイアの心、ハスの宝 ・太平洋のかけ橋に ・新渡戸造船	・宮城道雄 ・先着順採用 ・リレーキューリー ・モチイと日本語 ・「分かっていよう」 ・卒業式の参加を考えよう ・卒業式の参加を考えよう	・銀のしよく台 ・「分かっていよう」 ・私たちの小さな架				
特別活動	・学級目標を作ろう ・班活動、係活動の計画を立てよう ・学級の宝物をつくらう ・委員会活動の参加の仕方	・1年生迎える会の参加の仕方 ・学習の基本的習慣を身につけよう ・生命誕生の仕組みを知ろう ・自分にあった歯の磨き方をしよう ・係活動の見直しをしよう	・明るい家庭について考えよう ・夏休みの反省と2学期に向けて ・修学旅行の反省 ・運動会について考えよう ・異性の友達について考えよう ・係活動の計画を立てよう ・家の人の職業について考えよう ・修学旅行の計画 ・歯と健康なくらしについて考えよう ・たてわり班遊びの準備 ・2学期の係の反省 ・後期委員会への参加の仕方	・夏休みの反省と2学期に向けて ・修学旅行の反省 ・運動会について考えよう ・異性の友達について考えよう ・係活動の計画を立てよう ・家の人の職業について考えよう ・修学旅行の計画 ・歯と健康なくらしについて考えよう ・たてわり班遊びの準備 ・2学期の係の反省 ・後期委員会への参加の仕方	・卒業に向けての取り組み ・学級集会を開こう ・係活動の計画 ・卒業式の参加を考えよう ・6年生を送る会の参加の仕方 ・6年生を送る会の準備 ・私たちの学校について考えよう ・私たちが感謝の気持ちの表そう								

資料3 おんちプラン C(単元指導計画)

単元名 つながれ世界～みんな友だち～(中国とわたし) (全22時間)

6年

教科等との関連	主な学習活動(時)	教師の働きかけ
<p>社会 「米づくりの むらから古 墳のくに へ」</p> <p>国語 「ガイドブ ックを作ろ う」</p> <p><本時> 餃子交流会 0.5時間 今後の見通し 0.5時間</p>	<p>中国の何について調べたいか考えよう(2) <ふれる活動></p> <p>○中国について知っていることを発表しよう。(1) ・広さ・西遊記・三国志・黄砂・戦争 ・万里の長城・中華料理・チャイナドレス等</p> <p>○中国のどんなことを調べたいか項目を考える。(1) ・生活様式・食事・服装・建物・行事・遊び・自然 ・スポーツ・言葉・通貨・妖怪・物語</p> <p>調べる方法を考えよう(2) <見通す活動></p> <p>○調べたい項目について有効な方法や資料を探す。(1) ・図書館・取材・インターネットでまず調べてみる。 ・課題について、見直し・確認をし、調べるのが難しい場合は テーマを修正する。</p> <p>○決定した項目を次の活動で解決していくために、学習のおおまか な計画を立てる。(1) ・調べる→考える→交流しあう→まとめる の活動の流れを知る。</p> <p>いろいろな方法で調べ、調べたことをみんなに伝えよう(11) <調べる活動・実践する活動></p> <p>○自分で調べたい課題について調べる。(4) ・図書館・取材・インターネット等で調べる。</p> <p>○自分で調べたことを、同じ課題の子と交流する。(1) ・自分の調べていなかったことを知り、課題について知識を広 げる。</p> <p>○調べたことをまとめ、ポスターセッション交流会の準備をする。 (4) ・オリエンテーション ・計画を立てる。 ・資料作りをする。 ・発表の練習をする。</p> <p>○調べたことを発表し、中国の様子をつかむことができる。 学級ポスターセッション (1) 学年ポスターセッション(1) ・ポスターセッション交流会 ・分かったことや学んだことを話し合う。</p> <p>餃子交流会をしよう(7) <まとめる活動></p> <p>○餃子交流会を行うことを知る。(0.5) ・麗麗さんの話をする。→交流会を行いたい。</p> <p>○どんな交流会にしたいか話し合う。(0.5)</p> <p>○交流会の計画・準備をする。(2) ・餃子作りの役割分担をする。 ・会場作りに向けての役割分担をする。</p> <p>○麗麗さんとの餃子交流会(3.5) ・餃子作り体験をする。 ・感想を交流しあう ・麗麗さんやキャロル先生のお話を聞く。</p> <p>○今後の見通しを持つ(0.5) ・世界とつながるためにいろんな国について知りたい。</p>	<p>・社会「稲作の始まり」か ら、大きく日本が変化し た文化は、大陸から伝来 したことに目を向けさせ、中国について調べたい と興味を持てるよう にする。</p> <p>・有効な方法や資料を多 方面から粘り強く探すよ うに声をかけたり、課題 変更を促したりする</p> <p>・知らない人に分かりやす く伝えるために大切な ことをポスターで表し、 説明するために必要な ことを助言する。</p> <p>・国語「ガイドブックを作 ろう」から、資料のまと め方を学び、ポスター作 りに役立てる。</p> <p>・中国と日本の相違点に目 を向けさせながら、分か ったことや学んだこと を話し合う。</p> <p>・ボランティア先生の関わ りを通して、中国の食事 や生活により親しみや 興味・関心をもち、日本 との違いや中国の文化 のよさを再認識するこ とができるようにする</p> <p>・これまでの活動を振り返 り、次時からの見通しを 持たせるようにする。</p>

資料4 平成18年度 6年生 総合的な学習の時間「つなぐれ世界 ～みんな友だち～（中国とわたし）」における育てたい資質や能力

過程	活動場面	育てたい資質や能力			
		学習活動への関心・意欲・態度	総合的な思考・判断	学習活動に関わる技能・表現	知識を応用し総合する能力
ふれる活動	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 中国について知りたいという気持ちを持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 中国について調べたいこと、思ったことについて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が知っていることや調べたい内容がよくわかるように話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 中国を知るためには、どのような分野を調べるとよいか考えることができる。
見通す活動	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けて計画・立案 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題について、調べたいことを意欲的に考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けて、調べる内容や活動内容の計画を立てることができる。(見通しをもつ。) 友達の課題と比べ、グルーピングしたり、分担したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決の方法を考え、いろいろな方法を知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を解決するための多様な方法があることが分かり、活動の計画を立てることができる。
調べる・実践する活動	<ul style="list-style-type: none"> 個人調査 グループ交流 ポスターセッション交流会の計画・準備 ポスターセッション交流会 	<ul style="list-style-type: none"> 調べたい国のことをさまざまな分野から、本、インターネット、聞き取りなど様々な方法で調べようとするすることができる。 調べたことを意欲的にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料やグラフから、中国の生活の様子がわかり、人々の暮らしぶりを考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が調べたことが最も確に伝わる方法を選んで、まとめることができる。 調べたことを発表するためのメモを作り、要点が伝わるように話すことができる。 調べてわかったことや学習して感じたことを分かりやすく話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵や資料、グラフなどを生かして活用することができる。 調べたことや交流したことから、さまざまな習慣の違いに気づくことができる。
まとめる活動	<ul style="list-style-type: none"> 麗麗さんとの餃子交流会の計画・準備 麗麗さんとの餃子交流会 まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 仲を深めるために自分にできることは何かを考え、実行してみようという意欲をもつことができる。 中国だけでなく、他の国も調べてみたいという意欲をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 餃子作りを通して、さまざまな文化や習慣の違いを考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動に必要なものをつくり方を工夫して準備することができる。 学んだことや体験して感じたことを分かりやすく話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の足跡を振り返ったり、麗麗さんやキャロルさんの話から国際交流を進める上で何が大切なのかを考えることができる。